

1. 委員会を開いた年月日及び場所

平成28年3月10日 午前10時00分開会
小値賀町役場 3階第1会議室

2. 出席した委員の氏名

委員長	土川重佳
副委員長	末永一朗
委員	宮崎良保
委員	横山弘藏
委員	横浦英明
委員	松屋治郎
委員	今田光弘

3. 欠席した委員の氏名

なし

4. 出席した委員外議員の氏名

議長	立石隆教
----	------

5. 説明のため出席した者

町長	西浩三
副町長	谷良一
教育長	吉元勝信
会計管理者	大田一夫
総務課長	中川一也
住民課長	西村久之彦
福祉事務所長	植村敏彦
産業振興課長心得	中村慶幸
産業振興課理事	永井克宜
建設課長	蛭子晴市
教育次長	田川幸信
農業委員会事務局長	尾崎孝三
診療所事務長	近藤進

6. 職務のため出席した者

議会事務局長	尾野英昭
議会事務局書記	岩坪百合

7. 付託を受けた事件の件名

議案第35号 平成28年度小値賀町一般会計予算

開会時刻 10 : 00

音声 6/8

委員長（土川重佳） おはようございます。

ただいまから予算特別委員会を開会する。

本委員会に付託された案件は、議案第 35 号、平成 28 年度小値賀町一般会計予算、議案第 36 号、平成 28 年度小値賀町国民健康保険事業特別会計予算、議案第 37 号、平成 28 年度小値賀町介護保険事業特別会計予算、議案第 38 号、平成 28 年度小値賀町後期高齢者医療事業特別会計予算、議案第 39 号、平成 28 年度小値賀町渡船事業特別会計予算、議案第 40 号、平成 28 年度小値賀町簡易水道事業特別会計予算、議案第 41 号、平成 28 年度小値賀町下水道事業特別会計予算、議案第 42 号、平成 28 年度小値賀町国民健康保険診療所特別会計予算。以上、8 件だ。

本特別委員会の審査日数は、本日と明日及び 14 日の 3 日間。

審査の順序として、本日は一般会計予算の歳入及び歳出の一部を、明日は一般会計予算の歳出の残りを、14 日は 7 つの特別会計予算を予定している。

審議に入る前に、皆さんに願います。

発言については、手を挙げて委員長の指名の後、起立して行ってほしい。質疑に対して説明していただくため出席している説明員は、原則、町長以下、各課の課長職までだ。それ以外のものの説明を要する場合は、説明員が説明させる者の氏名及び必要な理由を述べた上で、委員長の許可を得て発言させるように。また、その折、説明させる者の服装には十分注意されるようご配慮を願う。

歳入歳出について、各款ごとに行う。明日の歳出については質疑が始まる前に連絡を入れるので、その時に入室してほしい。質疑が終わったら退出していただいて結構。なお、明日の歳出全般に渡る質疑の時には、各課に連絡を入れるので、全担当所管課長の入室をお願いします。

それでは、**議案第 35 号、平成 28 年度小値賀町一般会計予算を議題とする。**

本案について提案理由の補足説明をお願いします。

その前に、議員のほうからスマホとタブレットの使用の申し出があっている。検索のためということなので、それを許可する。それでは総務課長、お願いします。
総務課長

総務課長（中川一也） 歳入歳出事項別明細書により概要を説明する。

予算書 11 ページ。

1 款・町税、1 項・町民税、1 目・個人 5,342 万 5,000 円計上。同じく 2 目・法人 498 万 1,000 円を計上し、町民税の総額を 5,840 万 6,000 円とする。同じく 2 項 1 目・固定資産税 6,720 万円計上。2 目・国有資産等所在市町村交付金及び納付金を 232 万 7,000 円計上し、固定資産税の総額を 6,952 万 7,000 円とする。同じく 3 項・軽自動車税を 860 万円計上。4 項・町たばこ税 1,785 万円計上。

2 款・地方譲与税、1 項・地方揮発油譲与税を 560 万円計上。同じく 2 項・自動車重量譲

与税を 1,400 万円。4 項・航空機燃料譲与税は存目計上。

3 款 1 項・利子割交付金を 20 万円。

4 款 1 項・配当割交付金を 80 万円。

5 款 1 項・株式等譲渡所得割交付金を 4 万円計上。

6 款 1 項・地方消費税交付金を 4,000 万円。

7 款 1 項・自動車取得税交付金を 200 万円。

8 款 1 項・地方特例交付金を 5 万円、それぞれ計上。

9 款 1 項・地方交付税は、普通交付税を 15 億、特別地方交付税を 1 億、合わせて 16 億円計上している。

10 款 1 項・交通安全対策特別交付金は存目計上。

11 款・分担金及び負担金、1 項・分担金、1 目・農林水産業費分担金は存目計上。2 項・負担金、1 目・民生費負担金 762 万円の計上は、保育料 618 万円が主なもの。2 目・教育費負担金を 5 万 9,000 円計上し、負担金の総額を 767 万 9,000 円とする。

12 款・使用料及び手数料、1 項・使用料、1 目・総務使用料 136 万 8,000 円計上。3 目・衛生使用料を 87 万 8,000 円計上。同じく 4 目・農林水産業施設使用料は、漁港施設使用料 926 万 6,000 円計上。6 目・土木使用料は町営住宅家賃が主なもので、2,250 万 5,000 円計上。7 目・教育使用料を 106 万円計上し、使用料の総額を 3,507 万 7,000 円とする。同じく 2 項・手数料、1 目・総務手数料 214 万 7,000 円。2 目・衛生手数料 580 万 2,000 円計上。3 目・農林水産業手数料を 420 万 2,000 円計上し、手数料の総額を 1,215 万 2,000 円とする。

13 款・国庫支出金、1 項・国庫負担金、1 目・民生費国庫負担金は、1 節・社会福祉費負担金は、障害者自立支援給付費が主なもので、5,687 万 8,000 円計上。2 節・児童福祉費負担金は、児童扶養手当にかかる 287 万 6,000 円の計上。3 節・児童手当負担金 1,542 万 2,000 円計上。8 節・生活保護費負担金 4,147 万 5,000 円の計上。2 目・衛生費国庫負担金を 5 万円計上。1 項・国庫負担金を 1 億 1,670 万 1,000 円としている。2 項・国庫補助金、1 目・民生費国庫補助金では、国の補正予算にかかる年金生活者等支援臨時福祉給付金補助金 2,307 万円ほか 2,924 万 8,000 円計上。2 目・衛生費国庫補助金 21 万 3,000 円計上。4 目・土木費国庫補助金は、野崎町道の防災事業が主なもので、4,475 万円計上。6 目・教育費国庫補助金は、教員住宅建設にかかる学校施設環境改善交付金が主なもので、7,007 万 8,000 円計上。7 目・総務費国庫補助金は、離島活性化交付金ほか 2,623 万 5,000 円を計上し、国庫補助金の総額を 1 億 7,052 万 4,000 円としている。3 項・委託金、1 目・総務費委託金 214 万円計上。2 目・民生費委託金 59 万 1,000 円を計上し、委託金の総額を 273 万 1,000 円としている。

14 款・県支出金、1 項・県負担金、1 目・総務費県負担金 572 万 6,000 円計上。2 目・民生費県負担金 5,430 万 5,000 円。3 目・衛生費県負担金 88 万 4,000 円計上し、県負担金の総額を 6,091 万 5,000 円としている。同じく 2 項・県補助金、1 目・総務費県補助金を 8 万 2,000 円計上。2 目・民生費県補助金 798 万 1,000 円計上。3 目・衛生費県補助金は、海

岸漂着物地域対策推進事業費補助金ほか 1,155 万 8,000 円計上。4 目・農林水産業費県補助金は、加工場建設にかかる長崎県農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 5,640 万円ほか、各節のとおり 1 億 3,348 万 3,000 円計上。5 目・商工費県補助金 416 万 6,000 円計上。6 目・土木費県補助金を 40 万 7,000 円計上。8 目・教育費県補助金を 1,299 万 9,000 円計上し、県補助金の総額を 1 億 7,067 万 6,000 円としている。3 項・委託金は、1 目・総務費委託金 1,045 万 7,000 円計上。3 目・衛生費委託金 3 万 5,000 円計上。4 目・農林水産業費委託金 124 万 7,000 円計上。6 目・土木費委託金を 370 万 5,000 円計上し、委託金の総額を 1,544 万 4,000 円としている。

15 款・財産収入、1 項・財産運用収入、1 目・財産貸付収入 785 万円計上。2 目・利子及び配当金を 231 万 7,000 円計上。3 目・基金運用収入 150 万円計上し、財産運用収入の総額を 1,166 万 7,000 円としている。同じく 2 項・財産売払収入、1 目・不動産売払収入から 3 目・有価証券売払収入までは存目計上。4 目・出資金等返還金は担い手公社の各種事業への出資金の返還金で、329 万 8,000 円を計上。2 項・財産売払収入の合計を 330 万 2,000 円とする。

16 款 1 項・寄付金はいずれも存目計上。

17 款・繰入金、1 項・基金繰入金、2 目・振興基金繰入金は、商業組合の街灯設置にかかる民都機構資金の充当のための繰入れと、地域振興関係事業への振興基金の取り崩し充当で 1 億 6,010 万円の計上。3 目・まちづくり担い手育成基金繰入金 482 万 5,000 円計上。7 目・社会体育施設整備基金繰入金 2,000 万円計上。9 目・中山間ふるさと活性化基金繰入金 2 万 5,000 円計上。17 目・小値賀町しま共通地域通貨換金準備基金繰入金 573 万 3,000 円計上。総額を 1 億 9,068 万 3,000 円としている。同じく 2 項・特別会計繰入金はいずれも存目計上。

18 款 1 項・繰越金を 4,900 万円計上。

19 款・諸収入、1 項・延滞金加算金及び過料、2 項・町預金利子はいずれも存目計上。3 項・貸付金元利収入は、商工業者等への資金融資にかかる預託金元利収入 3,002 万 2,000 円の計上。4 項 5 目・雑入 5,073 万 8,000 円の計上は、運動公園テニスコート改修事業に対するスポーツ振興くじ助成金、農業共済組合嘱託獣医費、宝くじ市町配分金が主なもの。

20 款 1 項・町債、1 目・総務債 9,400 万円計上。2 目・民生債 800 万円。4 目・農林水産業債 9,250 万円。5 目・商工債 4,070 万円計上。8 目・教育債 2 億 1,440 万円を計上し、町債の総額を 4 億 4,960 万円としている。

27 ページから歳出について申し上げる。

1 款 1 項・議会費は、5,219 万 9,000 円の計上。昨年度と比較して減少しているのは、議員年金にかかる共済組合負担金の減によるもの。

2 款・総務費、1 項・総務管理費、1 目・一般管理費 2 億 4,686 万 2,000 円の計上は、会長報酬、二役及び職員 12 名分の人件費、庁舎経費、社会保障・税番号保障制度導入と関連して情報セキュリティ強化対策事業委託料、総合行政システム等事務機器リース料ほか 18

節・庁舎パソコン購入費が主なもの。2目・文書広報費は、おぢか新聞例規管理システムほか632万8,000円計上。3目・財政管理費は、人件費のほか公会計システム導入費で1,887万8,000円計上。4目・会計管理費21万5,000円計上。5目・財産管理費1,760万4,000円の計上。6目・企画費は、地域おこし協力隊事業、定住促進用住宅改修工事、小値賀交通バス購入事業が主なもので、5,972万4,000円計上。7目・交通安全対策費127万2,000円。8目・空港費801万6,000円計上。11目・ふるさと創生事業費を482万5,000円計上し、総務管理費の総額を3億6,372万4,000円としている。同じく2項・徴税費、1目・税務総務費1,856万円を計上。2目・賦課徴収費を63万2,000円計上し、徴税費の総額を1,919万2,000円としている。同じく3項1目・戸籍住民基本台帳費1,800万1,000円計上。同じく2目・住民基本台帳ネットワーク費378万5,000円計上。戸籍住民基本台帳費の総額を2,178万6,000円としている。同じく4項・選挙費、1目・選挙管理委員会費31万6,000円計上。2目・選挙啓発費4万9,000円。4目・参議院議員選挙費346万円計上。6目、8目は廃目で、選挙費の総額を382万5,000円としている。同じく5項・統計調査費、1目・統計調査総務費を54万9,000円計上。同じく6項・監査委員費を129万4,000円計上している。

3款・民生費、1項・社会福祉費、1目・社会福祉総務費1億6,547万2,000円の計上は、19節で後期高齢者医療給付費負担金、28節・特別会計繰出金が主なものである。2目・国民年金事務費10万7,000円計上。3目・老人福祉費3,530万8,000円計上。4目・障がい者福祉費1億2,579万9,000円の計上は、自立支援給付関係の扶助費が主なもの。9目・臨時福祉給付金は、国の補正予算による低年金生活者への給付金事業へ2,307万円を計上。1項・社会福祉費の総額を3億4,975万6,000円とする。同じく2項・児童福祉費、1目・児童福祉総務費は、放課後児童クラブ事業、出生祝金の拡充、児童公園整備工事、子育て世帯保育料軽減補助金の創設、福祉医療費の中学校までの拡充等で、前年比較で大幅増の4,010万9,000円計上。2目・母子福祉費は、児童扶養手当が主なもので、1,202万2,000円計上。4目・子ども園費6,607万5,000円を計上し、児童福祉費の総額を1億1,820万6,000円とする。同じく3項・生活保護費は、1目・生活保護総務費に2,419万2,000円、扶助費に5,530万円を計上し、生活保護費を7,949万2,000円とする。4項・災害救助費は存目計上。

4款・衛生費、1項・保健衛生費、1目・保健衛生総務費9,704万9,000円の計上は、28節・特別会計繰出金が主なもの。2目・予防費は、13節・診療所への予防接種業務委託料が主なもので、758万3,000円。3目・環境衛生費は、漂着ごみ回収処理委託料、大型生ごみ処理機設置費が主なもので、2,258万7,000円計上。4目・健康増進費に833万4,000万円計上。1項・保健衛生費の総額を1億3,555万3,000円とする。同じく2項・清掃費、1目・塵芥処理費9,713万円2,000円の計上は、15節・工事請負費、ゴミ焼却場大規模改修工事費等が主なもの。2目・し尿処理費に3,689万円を計上。2項・清掃費の総額を1億3,402万2,000円とする。

5 款・農林水産業費、1 項・農業費、1 目・農業委員会費 669 万 8,000 円。2 目・農業総務費 4,280 万 7,000 円。3 目・農業振興費 2 億 6,506 万 4,000 円の計上は、農産物加工場建設事業、地域おこし協力隊活動事業、担い手公社各種事業補助金、イノシシ被害防止対策等が主なもの。4 目・畜産業費は、スマート放牧管理事業ほか 2,078 万 7,000 円計上。5 目・農地費 3,024 万 2,000 円計上。1 項・農業費の総額を 3 億 6,559 万 8,000 円とする。同じく 2 項・林業費、1 目・林業振興費を 2,100 万 5,000 円計上。同じく 3 項・水産業費、1 目・水産業総務費 1,218 万円計上。2 目・水産業振興費 8,405 万 2,000 円の計上は、磯焼け対策事業、漁業研修生、離島流通効率化・コスト改善事業、離島漁業再生支援交付金等が主なもの。同じく 3 目・水産施設費 1,250 万 2,000 円計上。4 目・漁港管理費 2,447 万 2,000 円計上。5 目・漁港建設費 3,376 万 2,000 円の計上は、小値賀島地区漁港機能保全工事費、納島漁港高度利用整備工事等が主なもので、水産業費の総額を 1 億 6,696 万 8,000 円とする。

6 款・1 項・商工費、1 目・商工総務費 124 万 2,000 円計上。2 目・商工業振興費は、19 節で商店街の街路灯を更新するための街並み景観保全事業補助金が主なもので、5,228 万 4,000 円を計上。同じく 3 目・観光費、1 億 700 万 5,000 円の計上は、13 節・しま共通地域通貨発行業務委託料、15 節・工事請負費、18 節・備品購入費で野崎島ビジターセンター建設事業関連経費、19 節・負担金、補助で佐世保・小値賀観光圏整備事業負担金、五島列島おもてなし協議会負担金、民泊推進のための農林漁業体験民宿施設整備等補助金が主なもので、1 項・商工費の総額を 1 億 6,053 万 1,000 円としている。

7 款・土木費、1 項・土木管理費、1 目・土木総務費 1 億 4,608 万 8,000 円計上。2 目・景観形成費は、70 万 8,000 円計上し、土木管理費の総額を 1 億 4,679 万 6,000 円とする。2 項・道路橋梁費は、2 目・道路維持費 1,978 万 2,000 円。3 目・道路新設改良費は、町道路面性状調査等業務委託料、町道野崎本線防災工事が主なもので、4,883 万 7,000 万円を計上し、道路橋梁費の総額を 6,861 万 9,000 円とする。3 項・住宅費は 463 万円の計上。

8 款 1 項・消防費、1 目・非常備消防費は、広域消防事務委託負担金ほか 6,529 万 6,000 円を計上。2 目・消防施設費に 790 万 4,000 円計上。3 目・災害対策費に 5 万 4,000 円計上し、消防費の総額を 7,325 万 4,000 円とする。

9 款・教育費、1 項・教育総務費、1 目・教育委員会費 87 万 3,000 円計上。2 目・事務局費は、西町教員住宅建設費が主な事業で、1 億 3,357 万 4,000 円計上。教育総務費の総額を 1 億 3,444 万 7,000 円とする。同じく 2 項・小値賀小学校費、1 目・学校管理費は、18 節・備品購入費で電子黒板等 ICT 導入にかかる経費が主なもので、1,547 万 1,000 円計上。2 目・教育振興費を 266 万 4,000 円計上。小値賀小学校費の総額を 1,813 万 5,000 円とする。同じく 4 項・小値賀中学校費、1 目・学校管理費も、18 節・備品購入費でタブレット端末等 ICT 導入にかかる経費が主なもので、1,174 万 1,000 円計上。2 目・教育振興費を 1,083 万円計上し、小値賀中学校費の総額を 2,257 万 1,000 円とする。7 項・社会教育費、1 目・社会教育総務費 2,717 万円計上。2 目・公民館費 922 万 9,000 円計上。3 目・総合センター費 826 万 8,000 円計上。4 目・歴史民俗資料館費 624 万 6,000 円計上。5 目・文化財保護調査

費は、野崎島神官屋敷の改修事業が主なもので、8,063万円計上。6目・図書館費1,103万2,000円計上。7目・世界文化遺産登録推進事業費に600万9,000円計上し、社会教育費の総額を1億4,858万4,000円とする。同じく8項・保健体育費、1目・保健体育総務費は、総合運動公園のグラウンドとテニスコートの改修事業が大きなもので、2億149万2,000円計上。2目・学校給食費は小中学校給食共同調理場の運営経費で1,447万2,000円計上し、保健体育費の総額を2億1,596万4,000円とする。

10款・災害復旧費、1項・農林水産施設災害復旧費、2項・公共土木施設災害復旧費は、いずれも存目計上。

11款1項・公債費、1目・元金3億1,001万円計上。2目・利子3,129万1,000円を計上し、公債費の総額を3億4,130万1,000円とする。

12款・諸支出金、2項・特別会計繰出金、1目・渡船事業特別会計繰出金を1,828万7,000円計上。

13款・予備費を770万円計上。

以上、平成28年度小値賀町一般会計予算の概要を説明した。

委員長（土川重佳） これで提案理由の補足説明を終わる。 25:56

これから質疑を行う。

平成28年度小値賀町一般会計予算について、歳入から順に款を追って質疑願う。

しばらく休憩する。

— 休憩 午前 10 時 26 分 —
— 再開 午前 10 時 28 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

第1款・町 税 今田委員

委員（今田光弘） 2項・固定資産税。昨年在6,440万、その後補正がかかっている、補正後が多分今の時点で7,214万ということで、補正後見ると本年度予算がちょっと下がっているが、固定資産税の評価替えというのが確か昨年平成27年1月1日が基準年になっていると思うが、昨年と今年で数字が違う理由を教えてください。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 27年度の決算見込みが土地の部分で1,550万、家屋で2,430万、償却資産については2,790万を一応決算見込みとして予定している。この予算額については、土地の分については農地から非農用地への地目変更があっている。これが約26ヘクタール分。農業委員から通知が来ているので、それに基づいて計算をしている。それと、宅地から雑種地への地目変更が1,800平米。これを試算して、1,500万から約50万ぐらい税額が減るということで、1,500万を計上している。家屋については、2,430万が決算見込みだが、それに新築分の住宅が1棟、倉庫が5棟、改修工事が3棟となっているので、それ

を勘案して 2,470 万にしている。償却資産については、2,790 万が決算見込みだが、それから減価償却とって、落ちる分がある。それを考慮して 2,700 万円、主な償却資産の減の大きなものについては、九州電力の送電設備と変電設備を 27 年度にしており、26 年度で終わっており、その分が 27 年度で伸びているが、その分の、今度 1 年分の減価償却の分が大きいということで、2,700 万を計上している。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 浦 委員

委員（浦 英明） 軽自動車税が 860 万計上されているが、26 年度を見たが、結構増えているので、どうして増えているのか、尋ねる。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 台数については 26 台、一応、増えるようになっているが、税額の改正があっており、27 年度の専決処分というか、条例改正で、28 年度 4 月 1 日施行に条例改正しているが、その分の単価改正が一番大きなもので、原動機付き自転車が 1,000 円から 2,000 円になる。それから 27 年 4 月 1 日以降の軽乗用車の分の額が大きくて、1 台 1 万 800 円になる。と、5,000 円というふうに単価が変わっているの、その分がこの大きな要因だ。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） その下のたばこ税。これについては、前年度の予算から見ると 90 万 1,000 円減額と書いているが、これは今度 4 月からたばこが上がるということで、上がるんだったらこれも上がるんじゃないかと思うたが、もしかしたら止める人が多くなるの見込んで、こういうふうに減らしたのかなと思ったが、そこについて。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） たばこ税についても今年度の決算を見込んでいて、それから単価改正があるという部分を勘案して、大分落ちているので、その分単価が少し上がるので、それを上乗せした金額を予算化している。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 2 款・地方譲与税

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 3 款・利子割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 4 款・配当割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 5 款・株式等譲渡所得割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 6 款・地方消費税交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第7款・自動車取得税交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第8款・地方特例交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第9款・地方交付税

宮崎委員

委員（宮崎良保） 昨年、国政調査があつて、今年でそれも該当すると思うが、その状況によると若干下がるのかなという見方をしていたが、昨年と変わらない状況が書いてある。算定基準というか、算定基礎を伺う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 普通交付税は恐らく下がるだろうとは見ているが、平成27年度に確定した普通交付税の額が16億1,500万程度ある。そういうことでは、15億はまあ確実だろうと考えているので、その予算額を計上した。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

浦 委員

委員（浦 英明） 国勢調査の件を言ったので、できたら5年前と今回とどのくらい差があるのか、できればその統計調査の数字を教えてほしい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 前回よりも259名人数が減っている。今回の人口が2,560名。259名減って2,560名。普通交付税の計算というのは、毎年その算定方法も変わるし、こういうふうに国勢調査の年には必ず数値急減補正ということで、一気に影響が出ないような色々な仕組みをするので、単純に計算を当てはめると、変な数字が一人歩きする可能性がある。その数字はちょっと今、不確定なので出さないほうがいいと考えている。今の数値は速報値なので、新聞報道とかはされているが、正確なものはほかのことも含めてちゃんとした形で公表されるので。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第10款・交通安全対策特別交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第11款・分担金及び負担金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第12款・使用料及び手数料

今田委員

委員（今田光弘） 使用料及び手数料という中で、実はここに出て来ないが、空港。空港というのは存在するが、その空港の使用料というのは、今はゼロと考えているのか。あるいはどこかに入っているのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 空港は県営空港なので着陸料、空港使用料については長崎県のほうにそのまま直接流している。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第13款・国庫支出金 浦 委員

委員（浦 英明） 2項7目の総務国庫補助金の離島活性化交付金が2,599万あるが、これの充当先を尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 一番大きなものから言うと、離島流通効率化・コスト改善事業ということで、輸送費の補助、これが約1,100万。あと、総務費の定住促進用の住宅改修に320万。それから産業振興課の6次産業化の推進等に約280万。あとは藻場再生とか情報発信とか、そういったものに充当している。

委員長（土川重佳） もう一度お願いします。

総務課長（中川一也） 総務課関係では、まちづくり人材育成事業で77万。離島留学等の調査研究で31万。今のはいずれも企画費。同じく企画費で、地域の魅力発信事業ということで156万3,000円。同じく企画費の修学旅行等の事業で112万。先ほど言った定住促進用住宅で320万。空き家バンクの充実事業で55万5,000円。あと福祉事務所のほうの事業だが、児童福祉総務費のほうで子育て支援事業ということで36万。さっき言った産業振興課の離島流通効率化・コスト改善事業で1,106万。藻場再生活動による交流活性化事業で186万。水産加工品開発事業で140万。6次産業化で276万8,000円。農業振興費の中の担い手育成サポート事業で100万というふうに充当している。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第14款・県支出金 宮崎委員

委員（宮崎良保） 19ページの衛生費の県補助金について伺う。海岸漂着物地域対策推進事業補助金が900万ここに乗っているが、この概要の説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 27年度も実施しているが、海岸等への漂着物の処理、事業対象の1,000万に対する9割補助の900万を計上している。

委員長（土川重佳） いいか。ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第15款・財産収入 今田委員

委員（今田光弘） 21ページの残土埋立地使用料収入ということで、これは前年が1,100万余りだったが今年が200万ということで、この内容の説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） これは旧フェリーターミナルの耐震化工事に伴う残土処理だが、27年度で1万7,000立米の処理を考えていた。しかし、27年度で全て処理することが出来なかったので、28年度でその一部の3,000立米を組んでいる。なお、その分減ったので、今回の補正で落としている。

委員長（土川重佳） いいか。 今田委員

委員(今田光弘) 違う項目で、六社神社前の駐車場だが、あそこの貸付け収入が 25 万 2,000 円ということで、これも昨年度より減額しているが、細かい話になるが、半分が固定した駐車場、半分がフリーということだと思うが、これは後から出てくる支出のほうを見ると、25 万円の収入に対して実は 60 万円の賃貸料を払っている。半分固定、半分フリーとなると、やはり 60 万の半分ぐらいの駐車料金にするのが普通じゃないかと思うが、その辺の説明を。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) 今田議員が言うように、そういう考え方もしっかり持っていなければと思うが、最初、元々が笛吹本通りに路上駐車がが多いというのを解決するためにあそこに一般の人が利用できる駐車場を作ったというのが、そもそもの考え方で、その内に、郵便局に勤務する方、サラリーマン、特に勤務者がそういう格好で借りたいということで、一部、月極に持って行ったという経緯がある。そういうところで、一般の買い物客が利用するのが主目的なので、そういう観点から今まではずっとやってきている。今言った意見も踏まえて、当然、月極を決めても借りる人がいなければそこが空くことになるので、そこは今後研究し、色々な調査をしたいと思う。

委員長(土川重佳) 今田委員

委員(今田光弘) 実際に、固定のほうが多分 13 台だと思うが、今はほぼいっぱいになっている状態で、逆にフリーで留められるスペースが満車のことが結構ある。そういうこともあるので、それでなくとも足りない状態なので、やはり半分使ってるのであれば 60 万円の半分は確保するようにお金を取らないと町民も納得しないと思うので、その辺はいかがか。

委員長(土川重佳) 総務課長

総務課長(中川一也) 一般客が停めるところに常駐しているということであれば…、それはないか。では、それは駐車場が有効に活用されていることになるかと。

委員長(土川重佳) 町長

町長(西 浩三) 経緯を説明するが、本当は買ったかったが、ちょっと事情があり、持ち主が売ってくれなかった。そういうことで「半分は公的に使い、半分は貸したらいいじゃないか」というところから始まっているので。たまたま今、台数が半分に満たないと思うが、最初は確か半分ずつしていたと思う。言われるように。ただ、借りる人が少なくなっているかもしれないが。ただ、基本的には土地の提供者も公的に使って欲しいというのが 1 つの要求だったので、今、そのような形になっている。

委員長(土川重佳) 今田委員、良いか。納得か。

ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第 16 款・寄 附 金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第 17 款・繰 入 金

宮崎委員

委員（宮崎良保） 振興基金の繰入金で伺う。この中に民都機構分が 1,120 万あるが、これは大体、民間都市開発機構から 5,000 万来て、古民家再生で使ったと思うが、この民都機構分を使うものの概要と、残りいくらあるか教えてほしい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 正確な数字はちょっと手元に持ってきていないが、古民家再生に約 2,000 万ほど使い、約 3,000 万残っていたと思う。その内の 1,120 万が今回使うということで。実を言うと、これについては会計検査が目をつけていて、昨年も会計検査が来たが、今年はこの議会中に東京に出てこいとまで言われていて、「いや、とても行けない」ということで、逆に向こうからこっちに来るような話になっているが、文書がしょっちゅう来ていて、全国で調べてこんなふうな塩漬けになっているところがあるということで、「返還を」と言われている。どこまで粘れるかだが、今回使うことで、もうちょい粘れるのかなと考えているところだ。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 仔細は分かった。その民間都市開発機構の 1,120 万の使い方を、昨日説明があったと思うが、もう少し詳しく願います。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 基本的には、この資金はまちづくりに使うと決まっている。色々球出しを考える中で、商工会等とも話をして、老朽化している街路のすずらん灯を今回更新しようと考えている。そういうところで、商業組合に対する補助金という形で執行する。街路灯が約 28 基あるので、その撤去と設置という形になる。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） この民都機構の話を伺っていると、まだ残金がある。そしたらその場合、まちづくりに活用するという事なので、例えば今から観光客も増えるし、国から「返してくれ」と言われぬように、公衆トイレとかそういったまちづくりに必要なことに使えたらと思うが、そういうのはダメ？一応答弁をお願いします。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 基本的には民間が作るということがまず大前提だし、何でもかんでも民都機構が認めるかということ、当然、そうではなくて、比較的先進的な事例であったりとか住民協働でやるものとか、地域の活性化に資するとか、色々条件があるので、例えば町が作る代わりに誰かを代表にして公衆便所を作るというようなことがすんなり通るとは思われないので、その辺は、実際に具体的な事例が出て、それを検討してからじゃないと。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） そしたら、使ってはいけないというような規則があるわけか。そういった制約があるようだが、例えばその制約の中で、民間の活力みたいに聞こえたが、そしたら例えば祭りの蛇踊りの蛇を一体買うとか、そういう文化的なことには使えないのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 基本的にはこれはハード事業になっている。ソフト事業は対象にならないので、物づくりの方になる。あとは、今、おちか新聞等でもこういったことについての公募を毎年かけているので、そういったことを参考にして住民のほうから上がってくればと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） おちか新聞で目にしたような気もするが、せっかくだいていて補助金みたいなものなので、使い切る方向で、もうちょっと宣伝とか町民に促すようなことをやって、やはりせっかくだから使い切る方向で努力してほしいが、どうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） これは基本的には自己資金を持って、補助金をもらってやるという原点があるので、自分たちもそれなりに負担をしてまちづくりのためのハード整備をしようということなので、当然、そういう希望を出す時には自分たちもそれなりの一部負担を意識してやっていかなきゃいけないとなるので、町もそれに対して非常に良いことかどうかという判断もするし、議会にも相談することになると思う。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 後でいいが、1億6,000万ぐらい振興基金があるので、これを資料として出していただけか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） まとめたものを後で渡す。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第18款・繰越金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第19款・諸収入

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第20款・町債 宮崎委員

委員（宮崎良保） 総務債でバスの購入事業1,700万あるが、総事業費と主な概要の説明を。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 中型バス車両購入費で約2,000万の事業費を計上している。45人乗りぐらい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 町債の数字を見ると、かなり昨年より3億3,000万余り増えているが、殆ど過疎債、辺地債だ。町債が3億3,000万昨年より増えるということで年ごとの償還額がどのくらい増える見込みか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） ざっくりだが、3億3,000万増えているのを12年で償還する。金利が1%程度ということになると、元利均等なので、年間に2,800万から2,900万の程度で、償還額が増えるということになる。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 28年度の一般会計予算を見て、このところの数字が一番増えているので、西町長が昨日の本会議で説明をした時に「思い切って振興策をやる」みたいなことを言ったが、この起債がしっかり小値賀町の発展に繋がるよう期待しているが、例えば、8目の教育債の4節、野崎の神官屋敷改修事業。この家はかなり壊れているように、前見た時に思ったが、改修してしっかりした施設になるものか。また、古民家としての価値などはあるものか、説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（田川幸信） 神官屋敷の件だが、建物は議員が言うとおりにかなり傷んでいる。平成13年度に神官が移転してから手付かずの状態だが、明治26年の建築で、武家屋敷の風情を残す独特な建物ということで、建築学的にも非常に価値が高いという評価をいただいている、建設当時に近い状態で復元をして、今後の野崎島に関する事業につなげたいと考えている。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳入全般についてご質疑願う。 今田委員

委員（今田光弘） まちづくり公社が3月いっぱいNPOに移るとするか、閉めるという方向に入っていると思うが、町としては確か20万円の出資をしていると思うが、それは戻ってくるというか、出資金を戻すというのは入っていないようだが、いかがお考えか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 議員が言うように、そういう話は私たちのほうにも届いており、本来であれば存目計上は必要であったかと思っている。ただ、実際的には中々、まちづくり公社のほうも精算をした場合、出資金が全額帰ってくるような見込みはないとも聞いている。存目計上すべきだったが、その件については補正予算で予算計上を考えたい。説明欄には書いていないが、出資金と返還金の受け入れ先はあるので、実際に受け入れることは歳入は調整できる。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 町債のほうで聞けばよかったが、あわびの放流事業があっているが、効果が上がっているのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長心得

産業振興課長心得（中村慶幸） 結論から言うと、最近、放流効果の調査は実施していない。以前、実施していた時に私が把握しているのが年1%台から2%台という状況だったが、数年前から県が一部放流を集中的にやった箇所だが、そこで実施した時には3割程度の効果が見られた事例はある。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

1:13:58

これから歳出に移る。

しばらく休憩する。

—	休憩	午前	11 時	13 分	—
—	再開	午前	11 時	20 分	—

(総務課、住民課入室)

委員長(土川重佳) 再開する。

一般会計予算歳出に入る。

本日は第1款・議会費、第2款・総務費、第8款・消防費、第11款・公債費、第12款・諸支出金、第13款・予備費について質疑を行う。

それでは款を追って質疑願う。

第1款・議会費

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) **第2款・総務費** 今田委員

委員(今田光弘) 28、29ページぐらいにあるが、報酬。色々な作業をやっている方の報酬だが、先だっでの定例会では職員の実質的な賃金が値上げになると伺ったが、働いている方の賃金は今、ほぼ最低賃金にちょっと上回るぐらいだと思うが、その辺をもう少し上げるといふ考えはないか。ほぼ去年どおりの数字になっていると思うが。

委員長(土川重佳) 町長

町長(西 浩三) 言うように確かに人件費はそんなに高くないが、場合によっては何年かに1回は改定をしている。ただこれは、役場が先頭立って上げると他の団体に与える影響がものすごいので、そこら辺で自重しているところだ。随時、見直しは行っているところだ。

委員長(土川重佳) 横山委員

委員(横山弘藏) 今田議員の質問にあったように、この件については私も少し上げるべきではないかという考えを持っている。どちらかという、庁舎警備嘱託員、こういう日直をする人とか、そんなに肉体を使う仕事ではないが、かなり時間に縛られて夜の間も気持ち休まらない仕事だと思う。仕事の内容によっていくらか迷惑料というか、いくらか報われるような賃金体系を考えてほしいと日頃思っているが、その辺の仕事の内容によって少し上げたりすることは考えていないか。

委員長(土川重佳) 町長

町長(西 浩三) 言うように、改正は考えていて、今回も全員じゃないが、ある程度年

数が経った方もいるので、そこら辺の調整は少しずつやっている。ただ全体的に皆やるのは難しい。その職種で、「ここはやらんばいかん」とか決めるのは、今までの慣例を全部突き破ることも出てくるので、少しずつだが改正をしながらやっている。具体的な事は総務課長から何かあれば。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 今田議員の質問にも関連するが、臨時雇いの賃金については 200 円、日当を上げている。これは長崎県の最低賃金、毎年全国で発表される、それと見合わせて小値賀町の臨時の場合は 5 時までの 7 時間 30 分の勤務だが、そういうことで去年よりも 200 円上げている。町長が言ったように、嘱託員の報酬だが、嘱託員自体が基本的に制度的には長期間勤めるという仕組みではないので、労基法上も地方公務員法上も非常に曖昧で、どこの自治体も苦勞しているところだが、そういう面では規則的にルールを持ってというのは中々やりづらいところだ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 国の安倍総理も、そういった給料を上げるように日頃発言しているようなので、あまり形にこだわらず、働く人たちの、幾らかでも改善できるように、それこそ何百円か上げるだけでもかなり楽になるという話も聞いているので、よく協議して、町長が言うように見直すということも考えているみたいなので、期待しているが、よく話し合って決めてほしいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 30 頁の委託料の中で、ホームページ管理委託料があるが、役場のホームページのことだと思うが？

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） これについては平成 26 年度の繰越予算で、国の地方創生の交付金事業の球として小値賀町のホームページを 27 年度に、もう大体終わっているが、CMS 方式という使いやすい形のホームページに更新をしている。その中で、サーバーを含めて、今までと形が変わっていて、ホームページの管理の部分を委託することで、なお更新とか使い勝手とか、そういったことも含めて専門家に委託する格好にしている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） それはすごくいい形だと思うが、それにしても金額が安すぎるんじゃないかと思う。19 万 5,000 円というのは、年間予算と考えると 1 ヶ月わずかな金額で、その辺がいかがかなと思った。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 会社は福岡の会社だが、私たちも初めてなので、どういう格好で管理運営するのか不安もあるが、逆に言えばこれぐらいの金額なら任せてもいいのかなと。これが相当金額がかかるのなら、逆に町のほうで職員が一生懸命やったほうがいいともなりかねないが、これぐらいの金額なら、色々勉強のためにも外の力を利用してやっていこ

うと考えた。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 町のホームページというのはかなり多くの人が見るので、随時しっかり更新していかななくてはならないと思うし、高くなったからと言ってそれを町の職員がやると、それこそマンパワー不足なので、金額はともかくとして、適正な金額で力を入れてやっていただきたいと思う。次の 31 ページのイントラネット保守費用、昨年度は 201 万 1,000 円で、今年は 292 万 9,000 円、金額がかなり上がっているが、この保守費用が大きく増えた理由を説明してほしい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 光ケーブルの巡視点検委託料が増えた要因だ。光ケーブルが設置から 15 年経ち、今回、笛吹郷の光ケーブルが破損しているが、劣化による断線等についての調査、点検を今年は特別にやるようにしている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 同じく 31 ページ、下のほうのパソコン購入費 628 万 2,000 円だが、どの程度の数か、あるいは内容をざっくりでいいので教えてほしい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） これについては、平成 27 年度補正 4 号でも計上しているが、社会保障・税番号制度が入ることで、町長の施政方針や予算の説明でもあったと思うが、とにかくセキュリティを高めないといけないとなっている。そうするとインターネットは完全に切り離さないといけないという状況。それと LGWAN、総合行政、地方公共団体と国、県を繋ぐシステムとも一部切り離さないといけないというふうに、かなりセキュリティアップを求められ、実際の役場の仕事は当然、インターネットも使わないといけないし、国・県とも連絡を取らないといけない、自分たちの内部の仕事もしないといけない、ということで、今、イメージしているのは、各階、各課に数台の WIFI で繋がるパソコンを置こうと思っている。それを使ってインターネット関係の仕事は、民間企業とか設計会社とか含めて、そういうところでやるとして、後の役場の中は密閉した状況。さらにマイナンバーに関わる業務については全く孤立したものというふうな、3 段階のセキュリティ対策を取るということで、そのために、学校関係も含めてだが、パソコンが数十台いると考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 関連するが、ハード面の整備はそれでいいと思うが、それを完全に使いこなすというか、本当にセキュリティが守られるように、職員の教育費とか研修費などは必要ないのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 委員が言うように、職員一人ひとりの意識が非常に大事だと思っている。そういうことでは、役場内でも情報保護に関する要綱とか規則とかも合わせて整備しているので、まずそれを周知徹底していくようにしたいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 情報が漏れるというのは、やはりそこで働いている人の意識が低いがために安易に流れることが多々あると聞いているので、ハード面の充実も勿論だが、使う人の教育もしっかり予算を取って、専門家を招いてでもちゃんとやってほしいと思っているので、よろしく願います。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 35 ページに地域おこし協力隊（六島地区限界集落再生分）、これは想像できるんですが、情報発信分ということがある。これはどういった隊員を考えているのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 情報発信については、ずっと、26 年度は総務課に配置していたが、企画振興班の中に地域おこし協力隊を雇用してフェイスブック、ホームページといったものの、特にフェイスブックだったと思うが、小値賀の日常の情報を発信していたところだが、役場のマンパワー不足もあるが、中々情報発信がスムーズにいけないということで、地域おこし協力隊の外部の人を入れて、職員と一緒に、ホームページ等々の情報発信に力を入れていきたいと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 企画費の、同じく 35 ページの報償費の地域おこし協力隊謝礼（六島地区限界集落再生分）。以前にも説明は聞いているが、六島地区限界集落の再生、具体的にはどういう再生するイメージがあるのか、もう一度。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 以前も説明したが、六島の人口が急減して、3 名住んでいて、小金丸梅夫さんが一生懸命やっているところだが、1 人では中々地域の再生がうまくいかないということで、協力してくれるような力が欲しいということもあったので、地域起こし協力隊を呼んでやってみたらどうかと考えているところで、やることはやはり、六島のかなり荒れた自然を良くして行って、しかも外から呼び込むということで、交流を通じてファンを増やして、ある程度人が行ったり来たりするようなイメージの島にすると。出来ればその後、島に若い人が住んで、そういった事業を続けていくようになれば一番望ましいと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 一応 380 万余り予算が出ているが、結局は六島で生きていく手立てと例えば、農業、漁業、民宿などの宿泊施設を運営するか、それから自然体験をさせる施設とか…。小値賀には限界集落というのはまだ、多分、納島なんかも当てはまると思うが。六島を無人島にしたい気持ちは分かる。しかし、六島だけに、はっきり言って、ここまで力を入れるのが正しいかどうか。ちょっと引っ掛かるが、その辺はどうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 委員が言う意味も、確かにそういう意見もあるかと思う。これが例えば、地域にそういうふうに一生涯懸命やろうという人がいなければ、町がやろうというのはおそらくありえなかったと思う。例えば、納島でも住民のそういう意識が強くて、「何とかしてくれ」と町長に直談判するくらいの住民パワーがあれば、同じように地域おこし協力隊を派遣して一緒にやっっていこうというふうには、町のほうもやりやすい。やはり非常にリスクな厳しい事業だが、国は特別交付税措置を考えてまで地方をどうにかしようということもあるので、そういうことで、町としては予算計上したところだ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 事業としては悪くないと私も思う。指をくわえて無人島になるよりは、そこに力を注ぐといのは納得する。これは議論を深めると、一般質問で1回やってみたいと思うが、それは頭に入れておいてほしい。続いて36ページ。一番最初に離島留学制度調査研究事業。金額は大したことはないが、これはこの前の一般質問の答弁でもあったように、色々調査研究しているということだが、今のところどういったことに使われるのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 一般質問の時も少し答えたが、県立大学の山田先生や吉居先生が小値賀のファンでもあって、一生懸命小値賀のことを考えてくれている。教育ということで、大学の先生方を入れたほうが留学についてもスムーズに行くのかなということで、小値賀町内では若いお母さんやPTAや学校の関係者などが入った協議会を設けて活動してきた。今回、予算を計上しているのは、先生方の謝礼関係を予算化していて、実際、印刷製本費とかいった物も含めてやりたいが、まだ全体像として今回はあまり予算的には大きくない格好になっている。打合せをしながら今まで1年2年の研究成果を纏めて、その上に今後の実際動けるようなプランニングまで28年度に作り上げるのが目標だ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 留学制度に積極的な取り組みだと理解しているのでしっかりやってほしいが、留学制度を実行するには、やはり年度初め。例えば4月から新学期が始まるので、その前から活動しないといけない。だから、例えば28年度にその方向性が出た場合、すぐ29年度から実行に移すといのは時間的余裕がない。だから3月4月、要するに年が明けたらそういう活動をしないと間に合わないと思うが、そういう意味で、年度ごとに遅れると、すぐ1年がまた棒に振るわけだ。だからスピード感というか、こういうのは本当に実行に移していくのが良いと思うので、調査研究で一年間ぼーっと過ごすよりも、次の行動のことを考えながら、実行できる態勢づくりというか、そういう予算もいると思うが、どうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 担当課の考えとしては、28年度に計画が出来て、29年度に実施というのは到底無理だと考えている。まず計画ができれば、住民にも理解してもらい、里親を募集したいとか、そういった受け入れ態勢も構築しないといけないし、小値賀町の教育がそれだけ人が来るように魅力がある教育かどうかの宣伝、検証もしないといけない。そ

れがなく、人を連れて来ていきなり離島留学というのは、とてもじゃないけどありえないことだと考える。そうなると、仮に28年度に報告書が出来ても、31年度とか32年度とか、実施時期はそういう時期になって然るべきだと考える。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今の考えは十分理解できる。私も一般質問しながら後で思ったが、やはり住民に周知して、何故離島留学が良いかというのを分かってもらうように啓蒙して、一般住民に理解してもらう教育とかは大変時間がかかると感じている。そういう意味では、この離島留学制度というのは、金額は少ないが小値賀町の子どもや交流を増やして、学校を維持管理するためにも留学制度は、小値賀町にとっては一番意義のある事業と感じているので、個人的な意見だが、そういった意味では調査事業費が34万4,000円、もうちょっと町の方針として、西町長の考えもあると思うが、しっかり予算をとって前向きに進めてほしいとおもっているの、その辺、課長はどう考えているか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 予算の額と中身とか比例して考えるかどうかというのは、ひとつあると思う。今、委員が言うように、確かにスピード感を持ってしっかりやらなければいけないのと、着実に、本当に離島留学が、方向としてはいいが、バックデータも含めた所で、本当にしっかりしたものが示せるかどうか28年度にかかっているかと思う。併せて、出来れば28年度中に、方向がきちんとしたものが出来つつある中では、住民への意見交換会のようなものも出来るようにしていきたいと思うが、それも含めて予算で金額として上がって来るかどうかは、まだちょっと上手に組めてないところもあるかと思うが、今後、必要に応じて補正で対応していきたいと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 同じ企画の13節・委託料の結婚対策セミナー等委託料が100万円計上しているので、まず内容の説明を。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） この事業も28年度で3年目になる離島活性化交付金を活用した事業だ。1年目2年目と色々なセミナーとか本人の磨き上げとかやっているが、中々、軌道に乗っているとはいかないが、一部意識が変わったり積極的になっている人たちもいて、期待をしているところではある。3年目についても、過去2年の延長上になるが、専門機関に委託をして講師を派遣してもらい、イベントを企画してもらい、実際に佐世保などでイベント等で、見合いまでいかないが、実際に女性との出会いの場とかも含めて、セミナーと実践という形でやるという予定にしている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 年々、活発になっていると思うが、私も何人かの男性に「今度こそは出れよ」と発破をかけたところだ。しかし何といても今まで何十回しても数えるほどしか纏まってない。何故まとまらないのか、それが戦略だと思う。考えてみると、小値賀の

若い男というのは非常にシャイというか、飲み屋のお姉ちゃんには話すけど、思いを込めた人には中々話せない人が多い。確かにこういうイベントも必要だが、彼らを取り持つ仲人対策というのも将来的に必要かと思う。その辺検討してほしいが、どうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 班長のほうが詳しいので、班長に。

委員長（土川重佳） 発言を許す。

総務課班長（永田敬三） 花嫁対策について説明するが、縁結び役の活用はどうかということで、平成27年度、2年目だが、町の民生委員の定例会の折に、担当と私と出向いて、「昨年からこういう花嫁対策をやっている」ということと、当日、委託業者の講師も招いて、婚活の意味から説明、「そういうことをやる」「意識改革から必要だ」というセミナーも含めて、民生委員のほうにも各地区内で花嫁問題に困っている方がいれば役場に相談。議員が言うように、そういう方は積極的に自分から扉を開かないというか、そういう人が花嫁をゲットできない状況なので、まずは失敗でもいいからアタックするような心の持ち方というか、そういうことから教育している。2年目については、少し本人たちの意識も変わってきているのは実感している。ので、やはり継続することが今後の花嫁対策に繋がるのではないかと考えているし、長崎県で1人、縁結び隊ということで、私が登録されていて、まだ中々、実務というか、積極的に行える状況ではないが、そういう役割が必要と思っているので、先ほどの課長の答弁にもあったが、地域おこし協力隊の情報発信の人については、花嫁対策についても合わせてやってもらいたいと考えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） イベントとかあらゆる対策もやっているとは思う。十分に我々も敬意を表しているところだが、中々、結果として表れないというのが非常に残念だ。町長の今回の予算の主な目玉としても、人づくり、仕事づくりということで、人づくりの中では「子どもを作る」と言う人もいるが、そうではなくて、やはり人と人とを結ばせる仲人役等の人づくりも必要ではないかと思う。いくら本人が、若い子どもたちが「お嫁さん欲しいんだけど」と気持ちが高ぶってはくるんだろうけど、中々、今一歩、口は出すけど手は出せない、そういうところがあるので、そこをちょっと手を差し伸べてやれるような人づくりを考えていければと思うが、その辺の対策はないか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 県下の首長会でもそういう話が出ている。特に首長たちが先頭になってやれという意見もたまに出るが、なまじ中を知っているから中々先にいかないという話も出ている。まずは地元の人たち同士の結婚とかも出来ないのかなというのが、ご承知のように該当者は結構いるわけだが、その役割を果たすのは意外と地元の人でもできるのかもしれない。ただ、外の人と結びつけるというのは中々難しいのかなという気もしている。3年目か、私も正直、「いい加減にしたらどうか」と何年か前に言った。そしたら「いや、今度は男のほうの教育をする」というので、それならいいということで続けてきているが、

間もなく成果も出てくるかもしれない。そういうことで、新年度ももう少し教育を徹底したほうがいいんじゃないかということでやっているの、我々も応援することがあればしていきたいと思う。

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

1:55:15

— 休憩 午前 11 時 59 分 —
— 再開 午後 1 時 30 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

浦 委員

委員（浦 英明） 34 ページ、3 目、13 節の委託料。公会計のシステム導入委託料とあるが、この内容を尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 自治体の決算についても、公会計でやるよという動きが以前からあり、今、ちょうど移行期間で、総務省の簡易なモデルでやっているところだが、これが統一的に全国同じやり方をするよというので、地方公会計システムの整備を平成 28 年度までにやるよよとなっている。そういう中で、今、固定資産等の整備も平成 27 年度にやっている最中だが、それとドッキングした形で本格的な公会計システムが始まるよよということで、それについてはシステムを導入しないと中々できないよよということになるので、そのためのシステム導入を考えている。やり方はいくつかパターンがあったが、基本的には今の小値賀の総合行政システムと同じメーカーのものを入れる予定にしている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 私もそうだろうとは思ったが、去年の 10 月か 11 月ごろには固定資産台帳を整備しなさいと言われてると思うが、その頃に国が交付税をやるので、それで整備しなさいよよということで言われていると思うが、これが予算では上がって来てなかったんで、27 年度は。今度の 4 号補正であるのか、私も見てないので分からないが、その点について尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 補助金という形じゃなくて、地方財政措置をするよよという、国の言い分なので、そういうものが普通交付税あるいは特別交付税といったものでカウントされているよよというふうに見るとよよいうところであり、具体的にこの事業に対してこれだけ金が来るとよよいうきちんとしたものはない。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 私は一応、説明会等に行き、質問した経緯があるので、それは交付税措置でやると、さっき言ったよよように 10 月か 11 月だったよよと思うが、「ちゃんとやりますんで、それは自治体で整備してください」と言われたので、改めて尋ねるが。それと、28 年度中にやるよよいうことで、29 年の 4 月 1 日からスタートするよよのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 28年度中に導入をするので、28年度決算の作業についてはこのシステムでやれるのではと考えている。さっき言ったように、交付税措置というのは特別交付税措置のほうでみるという格好になろうかと思う。だから、特別交付税の中でそれが金額として明示して分かるような形になるかどうか、特別交付税に関する法律を読み取って、その中からカウントできるようになるかというところだろうと思うので、それは今度法律の本も見てみて、実際に金額として弾けるかどうか確認したいと思う。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 分かった。先ほど言ったように、今度の4号補正の中にも入っているのかなと思ったので。それはそれで結構。終わります。そしてその下の5目の財産管理費で、修繕料が270万上がっているが、これはちょっと大きい金額だと思うので、何なのか尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 一番大きいものはターミナルの自動ドアの更新だ。時々故障もあったりして、修繕も重なり、トラブルが起きていて、業者に見て貰ったら、もうかなりいろんなものが老朽化しているということで、更新を考えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 6目・企画費の中で、ここにはないが、ちょっとした金額だが、配られたソフト事業の中で空き家バンク充実事業で111万、本年度新規事業として上がっている。事業内容は空き家バンクの充実と積極的な定住促進を目指した事業展開を行うということで、離島活性化交付金の事業としてやっているが、この積極的な定住化を目指した事業展開とは何か。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 小値賀町においても「まち・ひと・しごと」で新しい人の流れをということで移住促進と考えていて、長崎県も長崎移住センターを今回、新たに設置して専門的に県内に目標人員を70名、そこを介して入って来る人が、というのを打ち出しているが、この事業で考えているのは、今回、地域おこし協力隊を卒業して小値賀に定住する、ゲストハウスを考えている福川君が、3年目の今年もずっと空き家バンクの事業をやっている。彼をうまく活用して、町外者の目線に対応するので、むしろ小値賀町の職員よりも色々気づくところもあるかなという期待をしているし、一部役場で仕事をしてもらうことで、彼の収入の安定にも繋がるかなとも考えるし、そういったことで今の空き家バンクをもっと手を入れてしっかり整備していかないと、受け入れ態勢として不十分だと考えるので、そこら辺に離島活性化交付金をということで、予算組みをしている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 福川君を利用したいということで、この前も福川君とも話をしたが、確かに素晴らしいことで、私は前々からこの種子島の西さん、サポートセンターの組織が

小値賀にも必要なのかなという気がしていた。それに近い事業と考えてもいいのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） そういううまくいっているところの事例を参考にして、イメージとすればそういうイメージでいる。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 先程も歳入の部分で出たが、バスを購入するというので、このバスは9月の定例会の時点では町長の答弁で、観光的なものにするか普通のものにするか決まっていないということだったが、どういう形になるのか。金額的にも意外と高いので、ざっくりした内容をまず願います。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 基本的には今の老朽化した路線バスの更新がメインだ。ただ、今田委員が言うように、町長も前に言ったように、観光への活用というのを当然、考えており、日曜には小値賀交通のバスは動いていないので、観光客がいる時には周遊バスというイメージで話をしている。それについては、先般、長崎運輸支局から2名の調査員が来て色々話をする中で、周遊バスのほうがハードルが低いかと考えており、貸切バス運行はこないだのバスの転落以降、非常に厳しくなっており、大変ハードルが高くなっているということだ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） バスの内容については理解した。もう少し長い目で見ると、今のバスも変わっていかないといけないと思うが、人口が減っていく、あるいはタクシーもどうなるか分からないという時に、デマンドバスとかデマンドタクシーとか、そういうのを将来的に導入する、あるいはそれに対しての研究をする考えはないか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 先般、長崎運輸支局が来た時にも、そのデマンドバスの話等も一緒に併せて話をしたが、ちょうどタクシーの問題もあり、今、一業者がやっているが、そちらの状況調査も兼ねて今回、来ており、国交省の中に観光庁もあるので、小値賀町に関しては、結構名前が売れているせいかもしれないが、非常に心配りをしてもらっている。そういう面では、将来的にはデマンド等も含めて研究していく材料だと思っている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） その上、定住促進用住宅改修工事。これは、離島活性化交付金を利用して町がリフォームを行い、10年間で管理物件として賃貸をするという内容だが、これはどこにするのか。1軒なのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 1軒程度と考えている。今、空き家バンクに登録されているものの中から、出来れば、家主と話がつけば、そういった物をイメージしている。これと決まっていないが、2、3軒の中から絞り込むと考えている。1軒は今、既に動いているのが、

町に寄附された新町の蛭子さんの家で、それについては利用規則なども作っており、28年度は実際に運用がある可能性が非常に高いと考えている。もう1軒は、出来れば、どっちかという田舎のほうに作ったほうがいいのかなと思っている。まだこれと決めているわけではない。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 37ページの19節の教育旅行支援補助金、224万円。これの内容について知らせてほしい。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 27年度も行った事業だが、島外からの修学旅行生に対する支援ということで、民間の宿泊施設を1泊以上利用した場合に体験補助金ということで、1名2,000円。実際は、フェリー代が片道1,000円ずつ安くなるような形だが、そういったことで、修学旅行生に対する補助金…修学旅行生に限らず、学生が小値賀に来て1泊以上する場合に補助を出すようにしている。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 主要事業一覧表の中の民泊事業に対しての補助金だが、150万、これは民泊民家を増やすための補助金だと思うが、何軒ぐらい予定しているのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 末永委員の質問は、多分、観光費で、これは総務費のほうだが、まあ答えると、何軒とは決めておらず補助金を組んで対象の件数を見て、もしもっと増えるようであれば補正予算で対応したいと思う。当初は分からなかったもので、概算で組んでいる。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 37ページの19節、各小値賀会との交流活性化事業旅費補助金145万6,000円。主要事業一覧によると224万6,000円出ているが、継続ということで前からあっていると思うが、もう少し具体的な内容の説明を。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 小値賀会というのは、町の色々な振興・交流をする上では大きな足掛かりと考えており、出来れば小値賀から一般の町民の方も積極的に参加してもらいたいと考えている。ただその条件として、特に若い世代であれば各小値賀会の周辺にいる自分たちの同級生とか、そういった人に声をかけて小値賀会に来てもらうということで、交流を深めて、その中から孫ターンであったりとか、そういうことも含めて、新しい交流、移住、定住が出来ないかと考えており、中々、各小値賀会が高齢化して、今後のことが危ぶまれるので、色々な層を含めて交流して行ければと考え、町民の旅費補助を考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） ということは、小値賀町から出向く人達の旅費になるのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） そのように考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 大体、年間どのくらいの参加を見込んだ金額であるのか、分かっているら説明を。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 予算ベースだが、4つの会に対して10名ずつぐらいを予定しているが、遠隔地に関しては旅費が膨らむので、予算の範囲内で対応したいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 説明書によると、「公募により小値賀会へ参加する町民の旅費補助」とあるが、28年度初めて公募するのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 今回初めて、そういう形でやろうと思っている。当然、公募をしないと住民に分からないので。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 同じところで関連だが、前年度が79万と書いているが、この79万はずっと見つけたが分からない。27年度も補正予算を全部チェックしたが、これが分からない。これは継続と書いているので79万という数字が出てきたんだろうが、この数字はどこから来ているのか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 離島活性化交付金の球出しの中でやっており、27年度は担い手公社の、研修生も含めて物販で行っている人たちの旅費をこの事業の中で処理をしている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） それでなかったと思う。ここでタイトルに「各小値賀会との交流活性化事業旅費補助金」と書いているので、さっき横山委員も尋ねていたが。これは以前、出されたことがある。良くご存じだと思うが、2回ほど出して、修正で出して否決された。1ブロックに大方10万ちょっとぐらいだと思う。45万ぐらい出していたから。その数字は分かる。そして公募をするという話だが、その人らが何名か知らないが、さっき10名とか言っていたが、大体1人当たり幾ら、そして合計でこの金額になるんだと、こういった数字を示せないか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 離島活性化交付金事業の1つに定住促進、交流促進ということで、一般財源を出来るだけ、事業をすることで減らそうということもあって、通常であれば小値賀から役場の担当職員も含めて行っている分を定住・交流促進のための事業に、こっちのほうに実績報告として上げて、離島活性化交付金事業の中に含めて説明をしている関係で、今の予算の時もそういう格好になっている。浦議員が言ったように、最初は小値賀会同士の行き来も、会長も役員も大変だということで、それを予算化して議員さんたちから

ひんしゆくを買ったこともある。今回については、ちょっと膨らませているのは、従来の担い手公社の研修生や地域おこし協力隊も積極的にいくが、それに上乘せして、一般町民の方に声をかけて、そういう人達に行ってもらうことで、新しい繋がりが出来ないかと考えており、事業費 145 万 6,000 円のうち、いわゆる担い手公社関係が何人かいるが、物販はやはり向こうの楽しみでもあるので、その人たち 2 名ぐらいの旅費は必要だろうと考えている。そのほかにやろうと思っており、細かくは積算してなくて、さっき言ったように大体何人かぐらいでと考えて予算化したところだ。各小値賀会に対して 10 名ずつで、県北だったら日帰りで 7 万 2,000 円。福岡なら太古丸で帰ってくるということで 1 名あたり 2 万 6,000 円ぐらいで 26 万円。関西なら 5 万ぐらいかかるので 50 万程度。関東だと 60 万程度というふうなことで、積み上げが 145 万 6,000 円になる。この中には先程言った、一部、どうしても行かないといけない物販の人も含めている。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） 積算については分かった。主要事業一覧の内容が、離島活性化交付金を使ってやっている事業で、継続だと。私は小値賀会の分については、今回初めて上がったから新規だと思っている。おたくが言ったのは、今まで担い手とかが物販で行っている分、そういったお金が旅費で出ていた。だからこの 145 万 6,000 円を出ているのとは、一体じゃないと思う。これは新規じゃなくて継続で出してきたのが、私には解せない。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 離島活性化交付金事業としては 27 年度も取り組んだので、継続と。ただ、今言った拡充した部分が新規ということで理解いただければと思う。新規と継続の書き方がまずいかなというのは分かるが、2 段書きすれば良かったと思うが、継続の分と新規の分というふうに。

（マイクなし）**委員（浦 英明）** それは分かっているが、・・・継続でやってきているからやらなければいけないという頭があったもんだから・

総務課長（中川一也） 継続であれ新規であれ、継続だからずっとやらなきゃいかんというものでもない。そういう面では、ずっとやっている事業の中に、一部拡充で新規の部分が出るというのは、例えば福祉・医療の部分でもそうだと思うが、予算が膨らんだ分だけ一部新規ということもあるので、そうなるところの書き方がちょっと難しくなるので、もうちょっと細かく書けばいいのだろうが、一部新規とか。そこは参考資料なのでご理解いただきたい。

委員長（土川重佳） 浦 委員

委員（浦 英明） その説明は分かるが、私にしてみたら「してやられたな」という感じがする。極端に言えば。これについては、前、否決した時には、45 万やったか、ずっと出ていたが、何故否決したのかという理由の 1 つは、もしかしたら将来、100 万、200 万、300 万という大きな数字が出てくるんじゃないかなろうかと。「40 万ですからお願いですから頼みます」と懇願された、あの時は。だから、そういうことにならんかなと言うと、「いや、

なりません」ということだったから、こういう数字が出てくれば「やっぱりそうだったんだな」ということにもなる。公募についても、どういうふうにするのか、そこ辺りも、2つとも尋ねる。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 浦議員が言っている時、その時の委員たちから指摘を受けた時のことについては、執行部としても同じことをやろうとは思っていないので、今回も各小値賀会の役員同士の旅費に使うということになると、重大な違反だと思うので、それはあり得ない。今、広報の話が出たが、広報は回覧もしくはおぢか新聞を考えている。

委員長（土川重佳） 副町長

副町長（谷 良一） 浦さんは勘違いしていると思うが、この前の予算は、例えば関東小値賀会の人に関西、福岡、県北に行く旅費を上げた。それを否決された。しかし、小値賀町の人小値賀会に行くのがいいんじゃないかという議員さんの意見が多かったと私は記憶しているが。だからこれは違う。前回と違ってこれは小値賀町の人に関東、関西、福岡、県北の小値賀会に行く旅費を上げている。だから浦さんは勘違いしている。

（マイクなし 浦委員「分かっている…」）

委員長（土川重佳） ほかにないか。

今田委員

委員（今田光弘） 小値賀会に対してだが、先ほど課長が若返りという話をして、実際、僕は昨年、4か所の小値賀会全部に行き、ちょっと悪い表現だが、本当に年配の方の同窓会になってしまっていて、あまり、それほどの補助金とかいう意味でバックアップしても本当に効果があるのかと。若い人が入って来なかったら続かないだろうというすごい危機感を持ったので、その辺、改めて聞くが、本当にそういう意図を強くもっているということか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） やっぱり予算を付けてやる以上は、効果が出ないということであればこの事業は1年で打ち切りたいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） ちょっと消極的と思う、今の答弁は。私も何回も小値賀会には参加しているが、4か所、確かに今田議員が言うように若い人が少ない。例えば私ぐらいの年齢の同級生も殆ど来ない。みんなもう70前後というか、昔を懐かしむために来ている感じだ。こういうちゃんとした予算を付ける以上は、やはりひとつ目標を立てて、例えば20代から何人、30代から何人、40代から何人、若い層をなるべくターゲットにして効果を上げるために、「こういう同級生が来る」という情報を早めに流して、関西地区とか関東地区にいる若い人がそれによって誘発されて小値賀会に参加できるような作戦を練って、この予算を執行したほうがいいんじゃないか。課長はどう思うか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 横山委員の言うとおりでと思うので、執行に当たっては十分、そ

ういうふうにやって行きたいと思う。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） ついでに。その場合は、やはり公募・広報のやり方として、小値賀から各小値賀会に行く時には大体、こういうふうな目的を持って行くんですよ、というある程度のものがなければ、ただ同級生と会って酒飲みに行きますではいかんから、公募の規定もいくらかいるんじゃないかと思うが、そこら辺はどうか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 松屋委員の言うとおりで。その辺は一生懸命、担当とも話し合っ
て、きちんとした説明ができる形で事業を組み立てたいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 結局これは婚活にも結び付くと思う。良い人がいないか、みたいな。そういった、意外と発展する可能性があるので、しっかり組んでほしいと思う。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 1年目なので、あまり広げすぎても…。とりあえず事業をしっかり構築するということで考えたいと思う。それが今言ったように派生していけば、これは非常に大きなものになるかと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 37 ページにアイランダー民間参加者旅費補助といこうことで、毎年アイランダー参加されているようだが、昨年は 12 万円、今年が 36 万円の補助で、3 倍の補助金になっている。これも含めてアイランダーに参加する意義、増設した意味をお願いする。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） まず、人数の 3 名は去年も同じで、ただ補助が離島活性化交付金事業と U・I ターン促進事業と、それぞれ紐付きで、2 つの事業を組み立てて去年は 3 名、今年も離島活性化交付金事業で 3 名ということで、中身はそう変わっていない。アイランダーの効果だが、情報発信の 1 つで、東京で島が皆集まってやるということでもかなりの集客があるのと、日本離島センターが主催して、国交省も後援に入って、比較的、公的なイベントということで捉えている。もう 14 年になる。ずっと行っていて、これに行く効果とかについては、前にも議員さんからきちんと検証をするようにという指摘は受けているが、具体的に数値として効果というのを言えることでもないが、やっぱり元気でやっている離島ということでは、小値賀町の知名度というか、ほかの町に対しても国に対してもそういうのがあると思っている。こういう機会に定住の相談窓口も開いているので、そういったところで定住相談者が、面白そうなブースにはやっぱり余計来るので、今回も目標として定住相談を 30 名は受けようとして参加しようと思っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 横山委員

委員（横山弘藏） ふるさと創生事業費の、40 ページの 19 節、就業準備金 350 万円。こ

れはどのくらいの就業する人を見込んでの金額か。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（中川一也） 7件を見込んでいる。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 5分休憩する。

2:40:38

（住民課退室）

— 休憩 午後 2 時 14 分 —

— 再開 午後 2 時 19 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

第8款・消 防 費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第11款・公 債 費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第12款・諸 支 出 金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第13款・予 備 費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） ないようなので、本日の質疑はこれまでとする。

本日はこれにて散会する。

— 午後 2 時 23 分 散会 —